

五十五万石

近畿税理士会和歌山支部

発行

和歌山市湊通丁北1丁目1-3
TEL.426-3600 FAX.424-1474



『見附島』(石川県珠洲市)

能登内浦海岸を代表する景勝地。周囲450m、高さ30m、磯から200m程沖にある無人島で、その形状から「軍艦島」の別名も持っている。昔、弘法大師が佐渡島から能登へ布教に渡った際に、「最初に目についた島」であることが「見附島」という名の由来と伝えられている。能登半島国立公園に指定されており、磯釣りや船釣りの他に夏は海水浴場として賑わう。

目 次

支部長 新年のごあいさつ	2	西年を迎えて	6
和歌山税務署長 新年のごあいさつ ...	2	三度目の西年を迎えて	6
会計事務所の詩	3	支部行事風景	7
平成17年の酉・鳥・鶏年について ...	4	新入会員等紹介	8
還暦を迎えての雑感	5		

新年のごあいさつ

和歌山支部長

西岡 義高



あけましておめでとうございます。毎年の事ながら年が改まって元旦の朝、今年こそ何か…と胸がわくわくする気分になるのですが、支部会員の先生方におかれましては新年をいかがお過ごしでしょうか。益々のご健勝のことと推察し、お慶び申し上げますとともに、日頃の会務運営にご協力戴き、心よりお礼申し上げます。

さて本年は大幅な商法改正が予定されます。会社法の根本的改正や、特に会計参与制度が導入されようとしております。我々税理士が会計参与に就任し、会社の取締役と協力して財務諸表を作成するもので、その会社の財務諸表の質の担保としての役割を担っていくわけでありまして。又、その分責任も重くなるのでありますが、前々年より導入されました年間36時間の義務研修や各種セミナー等で税理士としての資質向上に努め、この期待に堪えていかなければなりません。会員の諸先生方は、大変お忙しい方々ばかりでいらっしゃると思いますが、何事もよく働き、よく学び、よく遊べ、ということと心身を充実させて戴き、今後の業務の益々のご隆盛を祈念して、新年のごあいさつと致します。

新年のごあいさつ

和歌山税務署長

安河内 孚彦



新年あけましておめでとうございます。

平成17年の年頭に当たり、近畿税理士会和歌山支部の諸先生方に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、税務行政の円滑な執行に対しまして、深いご理解と多大なるご協力をいただき誠にありがとうございます。紙面をお借りして心から厚くお礼申し上げます。

さて、去年は相次ぐ台風の上陸や新潟中越地震等、過去例がないほど日本列島が天災に見舞われた年でありました。

被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げますと同時に、本年度は何事もなく穏やかな良い年であることを祈るばかりです。

ところで、我が国経済の状況は、明るさが見えてきたとはいえ、低迷感が依然として拭い去れない状況にありますが、翻って我々の税の職場を取り巻く環境は、経済グローバル化、高度情報化の進展などにより大きく変化しております。

これに対応するため、あるべき税制の具体化に向けた取り組みが進んでいるところです。

中でも、昨年6月から大阪国税局においても運営されることになりました国税電子申告・納税システム（e-Tax）と改正された消

費税法への対応が喫緊の課題となっており、この2つを署の重点施策としてとらえ、関係団体等の協力を仰ぎつつ、署を挙げてこれらの施策を強力に推進している次第であります。

間もなくしますと確定申告期を迎えることとなりますが、和歌山税務署では平日(月～金曜日)以外の2月20日と27日の日曜日にも確定申告の相談・申告書の受付を行います。

これは、従来から平日だけでなく休日にも税務署を開けてほしいという要望が納税者の皆様から寄せられており、このニーズに応えるため、昨年から実施されたもので、納税者の皆様からも一定の評価を得たことから、本年も引き続き行うものです。

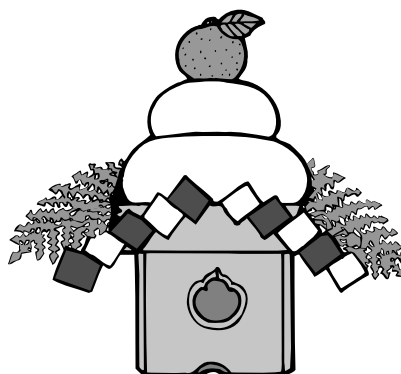
また、従来同様「自書申告」のより一層の定着にも努めてまいりたいと考えておりますので、近畿税理士会和歌山支部の皆様方におかれましては、税の専門家として、また税務行政の良き理解者として今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに臨み、新しい年が近畿税理士会和歌山支部のますますのご発展と、会員の先生方はもとよりご家族ともどものご健勝、ご多幸の年であることを心から祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

会計事務所の詩

江川 義隆

1. 吹けば飛ぶよな算盤ぺんに
懸けた命を笑えば笑え
生まれ紀州のゆかりの郷土で
月も知っている俺等の意気地
2. あの手この手の思案の胸に
破れ事務所に今年も暮れる
愚痴も言わずに浮気もやらず
年を迎えるこの意気地
3. 明日は月末筆とるからにや
何が何でもやらねばならぬ
空に灯がつく天守閣に
俺の闘志が又燃ゆる



平成17年の酉・鳥・鶏年について

小川 九十男

今年は酉年だそうである。酉は人名用漢字で鶏に充てる。酉年の人は思慮周到にして世渡り上手といわれその反面軽率で一事に専念し難く、器用に泳ぎ回って失敗を重ねることが多いと言われる。

世界中に鶏についての伝説は多いが我が国には神話のなかには天照大神を天岩戸から引き出すために鶏鳴が役立ったことが有名。また、我が紀州でも言い伝えがある。そのいくつかを並べると次のようである。

① 往古、今の紀ノ川付近の御膳松・松江付近は楠木正成の子孫であると伝えられる人達が住んでいる和田村という漁村であったが村人の大半は漁業で生計を立て、その収穫物の魚の食べかすの骨を猫や鶏に食べさせていたが、それでも魚滓を消化できず餌が豊富なため鶏が増加し、鳴き声で夜働く漁師も昼寝もできかねる有様となり、困った村民は相寄り、協議の末、遂に村一番の大きな故船に鶏を積み込んで、どこか遠くへ流してしまおうということになり、それを実行し、村は静かになった。その夜は祝いの大酒盛りとなったが、その夜のこと、突然大嵐が起き、すさまじい大津波が押し寄せ、村はこなごなに打ち破られてしまった。その後これは「ニワトリの祟り」と言われた。鶏を積んだ船は今の岡山県に流れ着いたと伝えられる。

② 時代は源平の争いが酣のときまで遡り元暦二（1185）年二月の屋島の合戦で平氏が敗れ源氏の勝利がほぼ確実となったときにも熊野権別当湛増には源平両者から熊野水軍の力を借りたいとの申し入れがあったが、熊野地方の知行国主が平頼盛であり従来から平家の勢力が強かった田辺別当として、尚平家を見限ることができず、田辺の新熊野神社（現・闘鶏神社）で権現の神意を伺うこととし、社前で赤白七羽ずつの鶏をそれぞれ平氏（赤）と源氏（白）にみたてて闘わせたところ、白鶏が全勝したため神意源氏にあると納得し、兵船二百余艘（兵二千人余）を率いて壇ノ浦に出陣し、源氏の勝利に力を貸すことになった。

以後の歴史の動きは皆様のご承知の通りであります。

③ むかし、有田川の遡った在所の小さな観音堂あり。細目の少し眠たそうな観音様が祀られておられた。その観音様にお詣りする人が多く、その人達はお米を白い紙にくるんでお供えをするのを常としていた。この紙包みからこぼれた米を頂戴していたのが鶏や雀で、朝早くからピーチク、パーチク、コケッコと鳴き続けるので、観音様も毎朝夜あけぬうちから賑やかなことで、流石の観音様も辛抱しかねて鶏と雀の親分を呼び寄せて「ちょっと言いにくいですが、もうちょっと静かにしてもらえまいか。わしもただボーッと立っているだけではなく昼間のお詣りの人達の願い事をどうすれば良いのか考えているのだ。だから睡魔でつい

うっかりと忘れてしまうと申訳が立たないがと弱っているのじゃ」と頼んでみたが、良い考えも浮かばず「そいで、おまえたちは朝早く起きるのが商売であろうが、せめてもうちょっと朝起きるのを遅らせてくれんかのう」といわはると、外ならぬ観音様のたのみなので、雀と鶏の親分たちは一言もなく承知した。

それからあとは、鶏も雀も朝早くから鳴くのを遠慮したが、村人達もすっかり朝寝坊になって困ったらしいで。

還暦を迎えての雑感

永島 隆雄

会員の皆様、明けましておめでとうござい
ます。

去年は、地震、台風と「申年」らしく大
変騒がしい1年でしたが、「申、酉騒ぐ」と
いわれ、「酉年」も景気はいいものの災害の
多い年といわれています。過去の例を見て
も、三河大地震や東北・北陸大地震などが
起きていますので、南海地震が起きないよ
うに願いたいものです。

ところで、私は、終戦の昭和20年4月生
まれの「酉年」で今年還暦を迎えます。小
さい頃は物資不足で大変な時代でしたが、
戦中生まれで職場の同期生が少ないことが
幸いし、最後は税務署長で退職することが
でき、人生は「運」が大きく作用すると実
感しているところです。

「九星開運曆」によりますと、「酉年」の
人の今年の吉方位は「西」で、「西」の方へ
出向き、その土地の温泉に入ったり、名物
を味わうほか、地酒を買い求めて飲めば運
が開けるとありましたので、まずは「西」
方面の温泉めぐりでもして今年のスタート
にしたいと思っています。

さて、私は、暦の上ではこの世のすべて
を経験し振り出しに戻るということになり
ますが、私の人生も税理士として第二の人
生のスタートの年になりました。

酉という字は「さんずい」をつけると
「酒」という字になることから、これまでに
培ったことを酒のように熟成させる年とい
われています。これを教訓にして高望みを
せず、国税の職場40年の経験を生かし楽し
く税理士稼業に取り組みたいと思っています。

また、第二の人生を楽しく有意義に送る
には夫婦共有の趣味を持つことだと聞きま
したが、私は、お酒とゴルフ、それに賭け
事以外にこれといった高尚な趣味はありま
せん。自由の身となった今、何事にもチャ
レンジしたいと思っていますので、先輩の
先生方、「声」をかけていただきますようお
願い致します。

最後に、松下幸之助氏は「金も大事、地
位も大事、しかし健康はもっと大事でなか
ろうか」といわれています。会員の皆様方
のご健康をお祈りし「還暦を迎えての雑感」
といたします。

西年を迎えて

峯尾 雄二

黙っていても年を取る。時間だけは平等、そして酉年がやって来た。50歳に手が届きそうな年となり、最近新聞などの小さな文字がやたらとぼやけてしまうのだ。机にはパソコンがあり仕方なくポチポチと使ってはいるが目が疲れてすぐ充血してくる。そしてポケットには携帯電話があり着メロの音に「ドキッ」の毎日、困ったものです。思い起こせば30年前、パソコンもコピー機もなく、もちろん手書きであった時代、簿記の知識さえなく飛び込んだ税理士業界での初めての仕事が総勘定元帳への記帳と試算表の作成であった。世にも不思議なこの仕組みに迷い苦しんだものでした。また、決算書もカーボン紙を敷いて手書きで3枚複写するのだが、最後の一行で終わる頃に間違えてしまい書き直しの連続であった。今では懐かしい思い出となりました。私の長男は大学の一回生（18歳）になっている。丁度この年に税理士業に足を突っ込んでいたのだ。40歳を不惑と言うらしいがまだまだそうは行かない。次回の酉年は還暦を迎えることとなるので60歳にして不惑となれるよう日々精進したい。

三度目の酉年を迎えて

瀬藤 啓司

昨年は目まぐるしい1年を送りつつ、3回目の年男を無事迎えることができました。

事務所を開業してから無我夢中で仕事に取り組んできましたが、5年も経つと事務所運営や近年目覚しく進歩するITへの対応などいろいろと課題が出てくるものです。

事務所のことは“よきにはからへ”と考えていましたが、やはり少人数ながらも組織になってくるとルールがないことで問題も起こりやすくなることを痛感しました。今年は自ら組織の統括に取り組み、より円滑、より効率のいい事務所にしたいと思います。

また最近外出時間が長くなったことで、出先にいながらノートパソコンから通信機器を使用して事務所内のサーバーにアクセスし、関与先のデータなどを見られるような環境整備を昨年よりしつつあります。今はまだハードに振り回されている段階ですが、今年は一歩進んでどのようにこの環境を利用すれば関与先のためになるかを具体化して行きたいと思います。個人的にはノートパソコンがあればどこでもインターネットができるということで結構気に入っております。

自分自身の改革としては、昨年は予定していた認定研修以外の研修をキャンセルしてしまっただけでもあったので、時間を見つ

新入会員等紹介 (敬称略)

入 会



ナガシマ タカオ
永島 隆雄

平成16年8月25日
和歌山市雑賀屋町東ノ丁51番地
第二新谷ビル4階401号



ニシジマ ヒデノブ
西島 英進

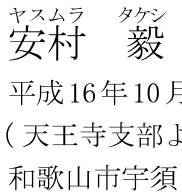
平成16年8月25日
和歌山市十三番丁70番地

転 入



イノウエ マサキ
井上 雅貴

平成16年9月9日
(西支部より)
和歌山市出口端の丁36



ヤスマラ タケン
安村 毅

平成16年10月1日
(天王寺支部より)
和歌山市宇須2丁目3番28号



ウダ カズマサ
宇田 和全

平成16年10月7日
(堺支部より)
税理士法人ゆびすい 和歌山支店
和歌山市雑賀屋町19番地
和歌山県薬剤師会館

退 会

木野 利一 (死亡) 平成16年10月23日
岡 一郎 (死亡) 平成16年10月23日
安村 毅 (死亡) 平成16年11月17日

会員報告

会員数
(平成17年1月1日現在)
241名(社)

◆◆◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆◆◆

新年明けましておめでとうございます。

「申酉荒れて戌笑う」などと言われますが、申年の昨年は、アテネオリンピックのメダルラッシュ・イチロー選手262本の年間最多安打記録など明るい話題もあったものの、「今年の漢字」に選ばれたのが「災」であったことが象徴するように、猛暑・観測史上最多の10個が上陸した台風・新潟県中越地震そして年末のインド洋大津波と、まさに大荒れの一年でありました。

酉年は荒れることなく平穏で素晴らしき年でもありますように・・・

「五十五万石」も今回で第19号、平成7年11月の創刊から丸10年を迎えることとなりました。

これも会員の皆様方からの原稿や写真・絵画の投稿等積極的なご協力のおかげです。

広報部一同、これからもより充実した誌面作りに努力いたしますので、皆様方におかれましては、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

広報委員 北 岡野 小西